

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第5回北諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

地域活性化の方向性について（公開）

## 3 開催日時

令和4年10月6日（木）午後6時30分から午後7時24分

## 4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 白木朝雄（会長）、高橋和彦（副会長）、大瀧修一、高橋礼子、  
中野洋子、松矢 茂、室岡由美子（欠席者4名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小川係長

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【白木会長】

- ・挨拶
  - ・会議録の確認：大瀧修一委員、中野委員に依頼
- 議題【協議事項】地域活性化の方向性について、事務局へ説明を求める。

### 【小川係長】

- ・資料No.1 「「地域活性化の方向性」の検討について」に基づき、地域の魅力や特性など

を今後どうしていきたいか意見を求める。

#### 【高橋副会長】

今ほどの会長の挨拶で、運動普及推進員や食生活改善推進員の話があったが、その存在を知られていないように思う。北諏訪の住民の中でこういった組織や団体があることを知らない人が多いと思う。それが浸透していかない1つの理由でもあると思うので、何らかの形で北諏訪にこういったものがあるということを積極的に周知して、住民に北諏訪地区に関心を持っていただかないと、何年協議しても同じことの繰り返しになってしまう気がする。

1年経てば学生から社会人になる人もいるし、今まで会社勤めだった人が町内や地域の役員になったり、人それぞれの変化がある。その役職につかないと関わることができない、普通の生活をしていてもこういうところがあるなど、もう少し皆さんに知っていただく努力をしなくてはいけないのではないかな。それによって、いろいろな意見を出していただくということを、ここにいる数人ではなく、原点に戻って地域の方々の率直な意見を聞いたり、お互いの意見交換の場を持つことが必要だと思う。

#### 【松矢委員】

会長の挨拶を聞いて納得する部分が多かった。地域の特性やあがってきた項目を見ると統一性がない、まとまりがないという意見が多い。それを根本的に直していかないと副会長が言われたように地域にどのような活動グループがあるのかPRできないし、学校を卒業したら、それまでの繋がりが全部切れてしまう。青年会もないし、婦人会もないし、敬老会もないし、地域が結びつくところが全然ないので、こういった問題が出てきているのではないかな。まとまりのある組織にしない限り上手くいかない気がする。

もう1点は、北諏訪区の将来をどうしていこうかということであれば、今ここに集まっているメンバーはどちらかというと高齢者が多いので、若者が自分たちでこういった地区にするという意見を出し合って、将来の構想を描いていかないとなかなかいい活動にならないのではないかなと思う。やはり、若い人を入れることが必要だと思う。

#### 【白木会長】

副会長が言われたように、食生活改善推進員や運動普及推進員は報酬がなく、持ち出しもあると聞く。どのように活動しているのかわからないが、そういう部分があるので、地域住民の皆さんからのフォローがあれば、ある程度活動しやすくなるのかなと思っている。北諏訪まちづくり振興会が出来たので、そこを活かしていろいろな組織とタイアッ

プしながら進めていかないとなかなかうまくいかない部分があると思う。高齢者の集まりの中でもいろいろな知恵を出して、若者がそこを継承していただくのが1番いいパターンだが、若者がなかなか入り込めないという難しさがある。若者は、まず1番は遊びである。遊びを優先するので遊びの感覚でできるかというとなかなか難しいと思う。若者の意欲をどのようにきちんと取り入れるかが1番難しい。北諏訪まちづくり振興会の健康・スポーツ部会のスポーツ団体に若い人が所属しているので、そういう人たちが魅力を持って北諏訪区のことをどのように考えていくかという部分について、どこかが後押ししてあげなければならないと思う。コロナ禍でいろいろ制約されてきているので、その難しさもあるが、まつりっちなどTMTがいろいろやっていただいたことが、北諏訪区の皆さんが親しめている1番の憩いの場である。それがコロナ禍でなくなっているし、そのこのところの閉塞感もないとは言えないので難しくなっている。旧13町村には伝統芸能まではいかなくても継承している芸能があるが、ここにはなにもない。子供会、青年会、婦人会、老人会もない。食生活改善推進員や運動普及推進員は、本来なら町内会長に推薦依頼がくる。町内会長連絡協議会でもそれぞれの町内会長に依頼はするが全くあがってこない。だから、私も含め町内会長の怠慢と言われても仕方がない。何年も前から市の健康づくり推進課から依頼があるが、打診しているのかもわからない。

**【室岡委員】**

結局、誰かが指名しないと自分では手を挙げないと思う。

**【白木会長】**

自分で立候補してやる人がいれば1番良いと思う。保倉区のまとまりがよいのに驚いた。

**【松矢委員】**

今もいろいろな役員をやっている人がいると思うが、誰がやっているのか、何をしているのかわからない。会ったこともないし、話を聞いたこともない。

**【白木会長】**

今、食生活改善推進員はいないし、運動普及推進員は2人しかいない。

**【高橋副会長】**

どこかのタイミングで他に協力を求めれば、そんなに人数は減らなかったと思う。人数が減って行って、今後どのように展開していったらよいかという投げかけがないと何をやっているのかわからない。

**【室岡委員】**

特に北諏訪区は人数も少ないから、何もできない。

**【白木会長】**

保倉区は17町内会あるが、人口としては北諏訪の倍というほどではない。町内会長がしっかりしているのだと思う。

**【室岡委員】**

保倉区には、まちづくり振興会が前からある。まとまりがあるのはそのためか。

**【中野委員】**

浦川原区は祭りが結構ある。そういった行事があると人が集まる。それで、まとまりができてくるのではないか。北諏訪区はまつりっちしかない。

**【室岡委員】**

北諏訪区のまつりっちは、北諏訪区の住民だけにしかPRしていない。

**【白木会長】**

会場の大きさの関係もある。コロナ禍のため、まつりっちや地区の運動会も実施していないので、皆さんのふれあいがどんどん狭まってきている。

**【中野委員】**

北諏訪地区の運動会を開催したとして、町内対抗でグラウンドではパターゴルフ、体育館では卓球、子どもたちはドッチボール等、広い世代で競技をすると盛り上がるのではないか。

**【白木会長】**

それがあると一番よいのだが、今コロナ禍で閉塞感があり、精神的にも萎んできている。政府がインバウンドを推奨して、外国からどんどん観光客が入ってくる。コロナにしても、きちんと予防対策すべきという人と、さほど必要ないという人もいる。どれが正論なのかわからない。

**【中野委員】**

先日、十日町市の大地の芸術祭に行ってきた。いろいろなオブジェが展示してあり、展示場所がそれぞれ離れている。各会場までバスもあり、いくつか作品を見てきた。上越でも冬に灯の回廊を開催しているが、北諏訪区もその団体に入れてもらって、実施したらどうか。

**【白木会長】**

先頭に立って進めてくれる人材が必要である。例えば、北諏訪小学校のグラウンドを借りて雪まつり的なイベントができれば、人は大勢集まってくるだろうが、それをやる人がいない。

**【中野委員】**

知り合いで、北諏訪小学校出身のお子さんが地元に戻ってきていて、いろいろなことをやりたいが、やる機会がないと話していた。若者の集まる団体を作ったり、若い人のイベントを開催して、そこで知り合いになって、そこで話をしてもらおうようにしてもよいのかと思う。

**【室岡委員】**

その人は発起人になれないのか。

**【白木会長】**

北諏訪区としては、北諏訪まちづくり振興会が立ち上がったので、意欲のある若い人たちをどのように取り込むかが一番のポイントである。

**【室岡委員】**

地域活性化の方向性をこのメンバーだけで話しても進まない。今、決めるのではなく、もう少し長いスパンをかけて、地域協議会委員以外の別の年代の人も交えて、突き詰めて話をしたらどうか。今、テーマが出てきたので、このタイミングしかないのではないのか。

**【中野委員】**

地域協議会だよりも、ただ配るのではなく、意見を求めているので記入するように呼び掛けてほしい。

**【高橋副会長】**

地域協議会だよりは、町内会長から各組長に渡って、ただ配っているだけである。地域協議会だよりの内容も、地域協議会委員でこういう活動をして、こういう感想をもったとか、皆さんの意見を載せてよいと思う。何か文書で伝わる工夫をしていくともう少し住民に伝わるのではないか。

**【白木会長】**

北諏訪の幼年野球が今年、優勝している。そういった情報が何もわからない。いろいろな方法があると思うが、北諏訪の団体の活動について、地域に周知できるとよいと思う。

### 【高橋副会長】

TMT関連団体の幼年野球やジュニア女子バレーがあるが、大会に出た、という終了した話だけで今は終わっている。そうではなくて、いつ大会があり、結果がどうだったかをフィードバックしてもらえれば、たよりに掲載することができる。今度、内部でもっと密に情報伝達するようにしたい。

### 【白木会長】

事務局に情報を提供して発信してもらえば、見る人は見る。今は、閉鎖的になっていて何もわからない。

### 【大瀧修一委員】

昔は、北諏訪区の子どもたちは水泳に力を入れていて強かった。また、綱引きも市の大会で何連覇もしていた。これが強いという特色を持っていたが、今は何もなくなっている。それは、昔はそれを引っ張っていくリーダーが何人もいた。今、そういったことをしてくれる人が見当たらない。若い人たちはどうしているのかといえば、普段の生活の中で何も不自由さを感じていないのだと思う。仕事に行き帰ってきて、家に帰ってきたらゆっくりしたい、で終わっているように感じる。引っ張っていくような人たちを育てる必要があると思う。

### 【白木会長】

それがTMTだった。水泳が強かったのは先生が一生懸命だった。そういったバイタリティのある人がいればよいのだが、先頭にたつと負担が掛かる。リーダーシップをとってくれる人がいれば一番よいのだがなかなか難しい。独りよがりでは駄目だ。

### 【高橋副会長】

文部科学省では、中学生の部活動について、今は、教職員が顧問として週末も勤務されているが、教職員の働き方改革で負担を減らそうということで、令和8年頃から土日の中学生の部活動を地域のスポーツクラブや団体に移行するという記事が載っていた。TMTは総合型地域スポーツクラブであり、4月の市の会議でその流れは知っていたので、北諏訪区もある意味ひとつのチャンスなのかなと思う。中学生を教える指導者が必要になるし、その協力者も必要になるので、1年ごとに段々と、1つの学校、1つの地域ごとに試験的に進めるのではないかなと思う。4、5年後には、ほぼそういった形になると想定した時に、こちらもある程度の心構えと準備が必要だと思う。先ほど大瀧委員が言われたように水泳が強いとか、何が強いという部分も生まれてくるのではないかと

いう期待は持っている。

**【白木会長】**

団体に地域のコミュニケーションが生まれる。

**【松矢委員】**

地域を活性化するとなると、祭り、例えば、太鼓祭りのようなイベントを何か作るか、スポーツ関係だと思う。そうするとまとまりやすいと思う。

**【高橋副会長】**

安塚区にスポーツクラブがある。確かNPOだったと思うが、平成17年頃のピーク時は、活動員が千人くらいいたらしい。今は、20数人。この10数年でそんなに極端に減るのか。安塚区の方が言うには「キューピットバレイのスキー場があり、雪だるま温泉もあるが、全国で見ると温泉のあるスキー場はいくらでもある。安塚だけではない。そういったことも要因になるかもしれないが、やはり、若い人の協力が段々減ってきて、地域の活動も縮小してくるし、10年前は、スポーツの魅力で人が来てくれた。それが、段々スポーツの魅力が薄れてきて、それが要因で人が集まってこない」と結構、深刻な感じで話されていた。北諏訪も段々そうになってしまうのかと、怖さを感じた。

**【白木会長】**

どこもそうだが、安塚区もかなりの人口減である。以前、後樂園球場に雪を運んでイベントをした頃のような人がいなくなった。若者がいなく、リーダーシップをとれる人がいなくなった。NPOが率先している例はあるが、残念ながら北諏訪区には何もない。そこが弱いところかと思う。町内会長が率先してやるべきことは沢山ある。市から年間プログラムとしてこんなイベントをやったらどうかと照会が来る。しかし、手続きなどが面倒で手を出さない。また、参加者が少ないと演舞の方に申し訳ないからと、尻込みしてしまう。

**【中野委員】**

例えば、自分の得意芸を披露するように地域みんなに呼びかけたら良いのではないか。若い人を集めて話合いをしてもらうのは大変なので、地域協議会に若い人がいて気軽に人を集めることができるのであれば、変わってくるのではないかと思った。

**【白木会長】**

本日出された意見は、事務局でまとめていただき、欠席された方の意見も次回聞きたいと思う。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【小川係長】

一委員から開催曜日の提案を受けたので、改めて皆さんに開催曜日などの確認をさせていただきたい。

【白木会長】

月曜日は週の初めであったり、金曜日は週末ということで木曜日になっているが、どうか。

(今のままで良いという声)

【白木会長】

では、木曜日のままとする。

【小川係長】

次回協議会日程は、11月下旬から12月上旬を考えている。会長と日程調整の上決まったら、皆さんにお知らせしたい。

【白木会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。